

オープン・イノベーションが もたらす未来

～金融 × IT × 地域社会が変えるビジネスのカタチ～

平成 29 年

9月22日 金

13:30～16:30 講演 (13:00受付開始)
16:30～17:00 交流会

講演

第1部 新たな“お金のものがたり”

「格差や社会的貧困、経済弱者に対してフィンテックが何ができるか」の観点から、モザンビーク共和国で行っている金融ビジネスモデルを紹介しながら、金融 × IT が変えていく世界について解説します。

日本植物燃料株式会社 代表取締役社長 合田 真氏

モザンビーク共和国の農村に電気と銀行を届ける日本人として注目される。モザンビーク共和国での再生可能エネルギー・食料・金融事業のほか、2017年国連本部で開催された「情報の貧困に関する世界会議」にてプレゼンを行う等、多方面で活躍。

第2部 社会貢献の後押しができるスマホ決済

少子高齢化や都市への一極集中が進むにつれ、地方では買い物をする場所が減少（買い物難民）している状況の中で、自分が欲しいものを必要なときに、簡単に購入できる社会貢献型スマホ決済システムを紹介します。

株式会社 AliveCast 代表取締役社長 中村 理氏

旧九州松下電器を経て2005年に株式会社 AliveCast を設立。スマートフォンを活用した新しいビジネスモデル「ExOrder」が2013年九州ニュービジネス優秀賞を受賞。商店街の活性化等に同システムを活用する取組みも広がっている。

第3部 フィンテックによるファイナンシャル
インクルージョンへの取り組み

国内において働き方が多様となる中で、いかに多くの人に金融サービスを提供するか課題となっています。こうした中、「労働」「給与」という信用情報を基に、新たな金融サービスを提供する取組みを紹介します。

ドレミング株式会社 代表取締役 CEO 桑原 広充氏

「働くひとの収入を増やし貧困格差を減らすこと」をミッションに、労働者支援のための金融サービスの提供を目指して、英国、米国、シンガポールにも法人を設立。日本の企業として初めて、「世界のFinTech100」に選ばれる。

内容

オープン・イノベーションを使った新しい金融サービスといえるフィンテック (FinTech) の登場が、経済活動にとどまらず、いわゆる経済格差や社会的貧困に対してもどのような変革をもたらすのかについて、福岡にご縁があって今フィンテック業界で注目を集める経営者をお招きしてご講演いただきます。

会場

筑邦銀行 本店3階 大ホール
(久留米市諏訪野町2456-1)

定員

200名

主催：株式会社筑邦銀行
共催：株式会社ちくぎん地域経済研究所
後援：福岡県、久留米市、RKB毎日放送
西日本新聞社、FINOLAB

スマホで今すぐ申込み

【ご利用方法】

1. スマートフォンで ExOrder アプリをインストール。
(App Store または GooglePlay で検索)
2. 初期設定の後、右記 QR コード読取る。
3. 表示された「電子チケット取得」を押す。
4. 参加される方の社名・会社住所・電話番号を入力。
5. 当日登録に使用されたスマートフォンを持参下さい。



FAXでのお申込み



FAX : 0942-38-7631 (ちくぎん地域経済研究所宛)

| | | |
|----------------------|----------------------|--------|
| 参加者① (役職) (氏名) | 参加者② (役職) (氏名) | 業種 |
| 会社名 | | 会社住所 |
| 電話番号 | | E-mail |

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、セミナーで紹介するサービスのご案内を行うための他、ちくぎん地域経済研究所の利用目的の範囲内で利用させていただきます。

【お問合せ先】 ちくぎん地域経済研究所 (柳・権藤・上野) TEL : 0942-46-5081